

## 女子栄養大学 教員養成に関する目標並びに目標達成のための計画

### <教員養成の目標>

本学の使命は、食を通じて疾病予防および健康の維持増進を図り、もって人々の幸福に貢献することにある。栄養学を基礎とする「教育指導者養成」は、建学以来、学科専攻を問わず、本学学生教育の基本方針であり、教職課程の設置は本学の教育において重要な意味を持つ。

学校教育の現場で、栄養・食生活教育をはじめ、子どもの心身の健康に深く関わる教員の役割に着目し、学部並びに大学院に教職課程を設置し、それらの教員の養成と高度専門化に取り組んできた。

このような経緯を踏まえ、本学の使命に則り、児童生徒の健康増進に貢献できる教員の養成を目標とする。また養成に当たっては、教育現場における知識及び技術の修得のみならず、児童・生徒指導に熱意をもって取り組める人間性の涵養も心がけるものとする。

### <目標達成のための計画>

目標に掲げた教員の養成を実現するため、社会が求めるニーズや教育現場の新たな課題への対応が可能となるよう、適宜、科目構成や科目内容を見直し、次の教育手法を取り入れ、学修の質の向上を図る。

1. 講義と演習や実験実習との往還や一貫性による、知識・技術の定着化、理論の根拠の理解
2. 実習や演習を課題解決型授業ととらえ、コミュニケーション力、調整力、論理的思考の涵養
3. アクティブラーニング、グループ討議やプレゼンテーションの多用を通じた実践型の学び
4. 自治体や企業、諸団体などとの連携を活用した社会が求める能力の体験型、課題解決型学習
5. 学生への支援体制（学生サポーター、TA、担任、相談時間（オフィスアワー）の設定等）